

バトポリ〜ペチャる！政治！〜

プレイ人数 3〜∞?

プレイ時間 20〜25分

入っているもの

争点カード 6枚 公約カード 47枚 経歴カード 20枚 有権者カード 33枚

ゲームの概要

候補者は引いたカードを用いて、自分の発言内容が相手チームより多くの支持を得ることができれば勝利となります。候補者はカードの内容をどんどん肉付けし、広げていってください。有権者は候補者が自分の置かれている状況を踏まえ、より良い政策を行ってくれそうなチームに投票してください。

各カードの概要

・争点カード

議論の争点となるカードです。4つの分野「経済・財政」「外交・安全保障」「教育・家庭・男女平等」「社会保障」について、それぞれ3つずつ争点があります。全部で12枚の争点カードから全体で1枚ランダムに引き、その争点カードに書かれたテーマについて議論します。

・公約カード

議論の争点に対する公約となるカードです。候補者は選ばれた争点の分野に適した公約カードを1枚ランダムに引き、その公約に沿って議論を行います。

・経歴カード

議論を行う候補者の経歴となるカードです。候補者はランダムに1枚引き、その経歴に沿って議論を行います。候補者の性格や人柄を表す要素であり、うまく活用すれば議論を有利に進められるかもしれません。

・有権者カード

投票を行う有権者の属性を表すカードです。有権者はランダムに1枚引き、このカードの属性と議論の内容をもとに当選してほしい候補者に投票します。普段の自分とは異なる立場で考えて、より良い候補者を当選させましょう。

準備

- ①争点カード、経歴カード、公約カードを裏向きのまま、各候補者は各カードを1枚ずつ引きます。各候補者はカードを引いた後、他者に見えないようにカードに書かれた内容を確認します。
- ②有権者カードを裏向きのまま、各有権者は1枚ずつ引きます。各有権者は他者に見えないように自身のカードに書かれた内容を確認します。
- ③準備が整ったら全プレイヤーはカードを一斉にオープンし、自分の前に並べて置きます。残ったカードは使い

ません。

④カード内容を確認後、2分間で各候補者は主張の準備をします。(政党にする場合は政党名もこの時間内に決めます。)

バトル(遊び方)

1. 候補者は、経歴カード・公約カードの二種類のカードをチームで一枚ずつ引きます。そして争点カードを全体で一枚引きます。
2. それぞれの候補者と有権者は、引いたカードの内容をプレイヤーに発表した後、候補者はじゃんけんをして先攻後攻を決めます。
3. 候補者は2分間、主張するための準備を行います。その間に有権者は、投票用紙を集計し、勝敗を判定する人を決めておきます。
4. 先攻の候補者は2分間自分の経歴カード・公約カードを駆使して、争点カードの内容に沿って選挙に勝てるように有権者にアピールします。
5. 後攻の候補者は2分間自分の経歴カード・公約カードを駆使して、先攻の候補者よりも、魅力的な候補者であることを有権者にアピールします。この際、先攻の候補者に対する反論をしてもかまいません。
6. 先攻の候補者は、後攻の候補者に対しての反論をします。(1分)
7. 両者の主張を聞き終えた有権者は、引いたカードの内容と両方の候補者の主張をもとに当選してほしい候補者の名前を投票用紙に書きます。

簡略版ゲーム進行

カードを引く→各チーム2分間主張準備→先行2分主張→高校2分主張→先行1分反論→後攻1分反論→先行1分反論[反論の反論があれば]→有権者考察→有権者投票→開票→勝利チーム万歳!→できれば有権者はなぜその候補者に投票したか発表

トーク例

争点:経済・財政について

「パリピ」で「インフルエンサー」の候補者

VS

「親の介護に苦心」している「現役弁護士」の候補者

インフルエンサー「私の公約は残業ゼロ社会の実現です。残業をゼロにすることで生産性の向上を図ろうと考

えています。私は日本経済が伸びない原因は“働きすぎなのに生産性が低い”ことだと考えました。長時間労働をすることでパフォーマンスの低下を招き、事故などを誘発することで、本来かからない医療費・メンタル不調による社会保障費を増やす原因となっている！

そのためにAIなどを活用した労働効率の改善を目指し、企業利益の質を向上させようと考えています。法律で定時後の業務連絡の禁止したり、テクノロジーの導入を義務化するべきだ！そうすれば残業ゼロを実現でき、日本の未来は明るいっしょ！」

弁護士「私の公約は最低賃金を引き上げることによって内需拡大を目指そうと考えています。経済を回すにはまずお金を使う余裕がないと始まらない。低所得者は所得のほぼ全てを生活費に充てている。現在の日本を見ると急激な物価高による影響を受けて、低所得者の幅は広がっていると私は考えた。そうなるとうるさくに対する出費やブランドのついた飲食物などが影響を受け始め、全体の産業が衰退してしまいます。それを防ぎ、向上させていくには最低賃金の引き上げが一番効果的だと考えました。また、生活保護・各種給付への依存が減ることで財政負担が軽減され、結果的に全体の出費を削減でき、さらなる発展に国家予算を費やすことができるようにもなります。賃金を上げることは“支出”ではなく“回収できる投資”です。」

インフルエンサー「賃金引き上げはコストが大きすぎるし、成果が出るまでに時間がかかる。企業が耐えられず、雇用が減れば税収も落ち、結果的にマイナスになる！財政にとって一番危険なのは“企業の体力低下”だ。」

弁護士「“残業ゼロ”を目指すのは素晴らしいことです。しかし法と実態を無視したスローガンは返って人を苦しめる可能性があります。例えば医療現場や介護、警察などの公務員は、状況によっては残業しなければ社会に大きな混乱をもたらす場合があります。そういう場合は、特別手当などで補填している。なら実態にそぐわない残業ゼロよりも、最低賃金の引き上げによって生活の安定を図るほうが優先順位は高いと思います。

経歴カードの内容から候補者の性格や喋り方などを考察してないきって話してみると面白いかも！！

勝敗(基本の遊び方)

有権者は、「支持したい」と思った候補者の名前を書いた投票用紙で投票します。集計する人は、有権者全員の投票用紙を回収し、一枚ずつ開票していきます。より多くの票を得た候補者が勝利となります。同数だった場合は、じゃんけんをして、勝った候補者の勝利となります。最後に、有権者は、投票した候補者を選んだ理由を説明します。

制作 中京大学法学部 2025 年度基本演習(京ゼミ)学生一同

参考資料 秋口ぎくろ他「ベチャリフレ ステージバトル編」幻冬舎